

小豆機械化栽培の現地課題解決に向けタスクチームが始動！！

京都府の小豆生産については、京菓子業界など実需者からの増産要望に応えるため、省力機械化技術の導入による積極的な集団栽培の推進により作付面積の拡大と出荷量の確保に努めてきました。

しかし、雑草の防除が困難であったり、機械収穫時の刈り残しや小豆が土で汚れて品質を下げる等の問題があり、早急な解決が求められています。

そこで、農林センター、生物資源研究センター、普及センターが一体となって現地栽培試験を実施し、セミナーの開催など技術指導に取り組む計画を立てました。



決意も新たに熱心に討議するタスクチーム員

農 林 セ ン タ ー